

「プレスネット」(vol.899)
平成 30 年 3 月 22 日掲載



郷土の魅力を見直そうと
広島大学マスターズ市民講
座として講師・難波平人で
「東広島を楽しくスケッチし
よう(安芸津編)」を実施し
ました。
昨年の10月31日から全4



難波 平人
(油彩画家)

東広島をスケッチ

風景を観察し、生き生きと描く



難波平人「安芸津漁港」



檜垣恵美子「三津湾を望む」

回、市民30人が参加し、一人
2点を制作。前半は安芸津
生涯学習センターに集合
し、俯瞰的構図を求めて高

台に登り、眼下の家並みや
青い海の美しさを夢中で描
きました。
後半は浜地区集会所に集

合し、潮風の香りや海の広が
りなど生活感が溢れる漁港
をスケッチしました。

この講座は①よく観察す
ること、②感動したところを
しっかり描くこと、③絵が生
き生きとしていること、④紙
の白を最大限に生かすこと
などを目標に進めました。

東広島ケーブルメディア
が4日間、全工程を取材し、
2日間にわたっての放映も
ありました。完成した作品
は3月28日〜4月2日、く
らら東広島市民ギャラリー
で展示しますので、ご来場を

お待ちしております。

参加者は絵を描くこと
で、風景をよく観察し、安芸
津の素晴らしさや東広島の
良さを再確認できたと言
っていました。

安芸津町は御蔵所と酒で
栄え、万葉の里、風早など観
光資源は豊富。町の方々も
優しく、安芸津への想いは深
くなりました。

広島大学マ
スターズは、広島
大学を退職してい
ます。市民を対象に
した講座も行ってい
ます。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima
-u.ac.jp(渡部)



過去の記事